

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成26年10月9日(2014.10.9)

【公開番号】特開2013-80349(P2013-80349A)

【公開日】平成25年5月2日(2013.5.2)

【年通号数】公開・登録公報2013-021

【出願番号】特願2011-219564(P2011-219564)

【国際特許分類】

G 0 6 K 9/20 (2006.01)

【F I】

G 0 6 K 9/20 3 6 0 C

【手続補正書】

【提出日】平成26年8月26日(2014.8.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

入力画像から空白文字及び通常の文字を特定する特定手段と、

前記特定手段で特定された空白文字に対して、当該空白文字の前後にある通常の文字の色情報を付加する付加手段と

を有することを特徴とする画像処理装置。

【請求項2】

入力画像から、空白文字及び通常の文字を含む文字列を特定する特定手段と、

前記特定手段で特定された文字列における通常の文字の色情報を識別する識別手段と、

前記特定手段で特定された文字列における空白文字に対して、前記特定された文字列における当該空白文字の前後にある通常の文字の前記識別された色情報を付加する付加手段と

を有することを特徴とする画像処理装置。

【請求項3】

入力画像から編集が可能な電子データを生成する画像処理装置であって、

文字列を含む画像を前記入力画像として入力する入力手段と、

前記入力画像を構成する画素において画素値が近似する複数の画素塊を抽出する抽出手段と、

前記複数の前記画素塊が構成する領域を、文字領域、およびそれ以外の領域のうちの少なくともいずれかとして識別する識別手段と、

前記文字領域として識別された画素塊から文字を解析し、当該文字の少なくとも文字コードと位置情報を含む文字情報を取得する解析手段と、

前記文字情報により示される文字の配置から空白文字を含む文字列を特定する特定手段と、

前記文字情報にて示される位置の文字領域の画素塊から色情報を取得し、当該文字情報に付加する色情報付加手段と、

前記特定された文字列と当該文字列に含まれる文字の文字情報をから前記電子データを定義する記述を生成する生成手段と

を備え、

前記色情報付加手段は、前記文字列に含まれる空白文字の文字情報を対し、当該文字列

における当該空白文字の前後にある文字の色情報を付加することを特徴とする画像処理装置。

【請求項 4】

前記解析手段は更に、前記文字領域として識別された画素塊の文字に対し、文字サイズ、フォント形状、太字、斜体のうちの少なくとも一つの情報を修飾情報として取得し、

前記色情報付加手段は更に、前記文字列に含まれる空白文字の文字情報に対し、当該文字列における当該空白文字の前後にある文字の修飾情報を付加することを特徴とする請求項3に記載の画像処理装置。

【請求項 5】

前記色情報付加手段は、一つの文字情報にて示される位置に、二つ以上の画素塊が存在する場合、当該画素塊のうち、前記文字情報にて示される文字の範囲と重なる面積が最大の画素塊から前記色情報を取得することを特徴とする請求項3または4に記載の画像処理装置。

【請求項 6】

前記文字情報に含まれる位置情報は、文字が含まれる矩形の領域の座標にて示されることを特徴とする請求項3乃至5のいずれか一項に記載の画像処理装置。

【請求項 7】

入力画像から空白文字及び通常の文字を特定する特定工程と、
前記特定工程にて特定された空白文字に対して、当該空白文字の前後にある通常の文字の色情報を付加する付加工程と
を有することを特徴とする画像処理方法。

【請求項 8】

コンピュータを、
入力画像から空白文字及び通常の文字を特定する特定手段、
前記特定手段で特定された空白文字に対して、当該空白文字の前後にある通常の文字の色情報を付加する付加手段
として機能させるためのプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

上記課題を解決するために、本願発明は以下の構成を有する。すなわち、画像処理装置であって、入力画像から空白文字及び通常の文字を特定する特定手段と、前記特定手段で特定された空白文字に対して、当該空白文字の前後にある通常の文字の色情報を付加する付加手段とを有する。